



サヤ管を特殊部品で登録したい！(鋼材部品編)①

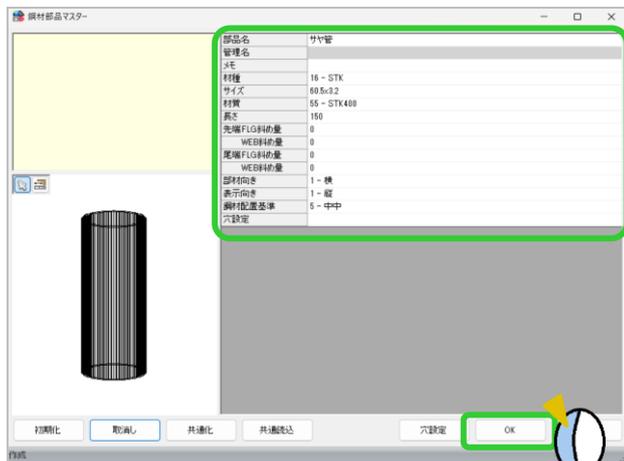
二次部材マスターの特殊部品マスターにて登録します。【サヤ管編】

【二次部材】 - 【二次部材マスター】 - 【特殊部品】 をクリックします。

今回は STK 鋼材を使用して特殊部品を作成するため、【鋼材部品】タブを開いた状態で【作成】をクリックします。

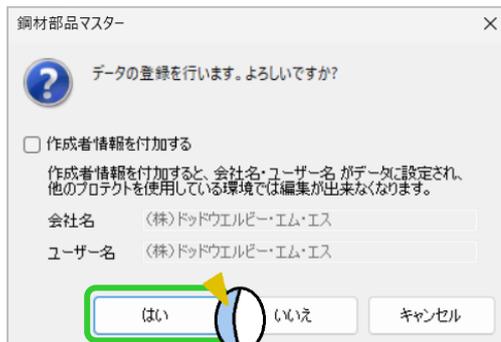


部品名・材種・サイズなどを入力し、**OK**をクリックするとメッセージを表示します。



部品名	サヤ管 と入力
材種	16-STK を選択
サイズ	60.5x3.2 を選択
材質	55-STK400 を選択
長さ	150 と入力
先端 FLG 斜め量	0
WEB 斜め量	0
尾端 FLG 斜め量	0
WEB 斜め量	0
部材向き	1-横
表示向き	1-縦
鋼材配置基準	5-中中
穴設定	今回は設定しません

はいをクリックして鋼材部品を保存します。



作成者情報を付加するに☑を入れると部品データに作成者情報を付加します。
作成者情報を付加された部品は、別のプロテクトキーを使用時に編集や共通化ができません。



特殊部品は部品データ（板部品や鋼材部品）をもとに組み合わせて作成を行います。

- 板部品 …PL の部品を登録します。
- 鋼材部品…鋼材を部品として登録します。

※板部品、鋼材部品を単品で配置する場合も、特殊部品での登録が必要です。

※詳細は【特殊部品マスター】 - **ファイル** - **作成手順**を参照してください。

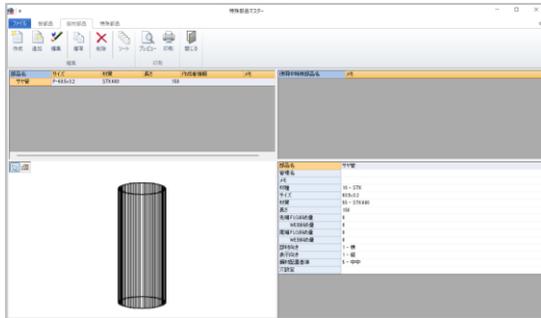


サヤ管を特殊部品で登録したい！(鋼材部品編)②

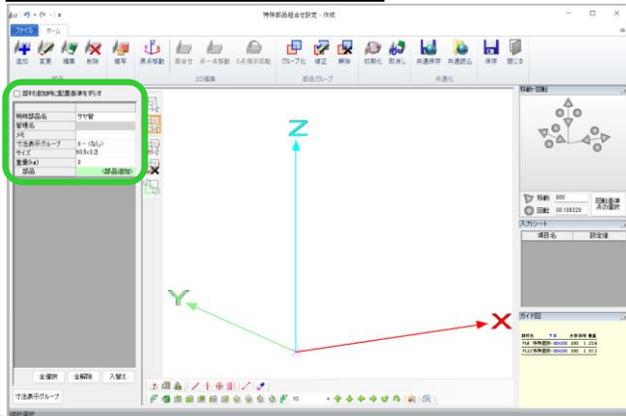
二次部材マスターの特殊部品マスターにて登録します。【サヤ管編】

サヤ管で使用する鋼材部品を登録した後、【特殊部品】 - 【作成】 をクリックします。

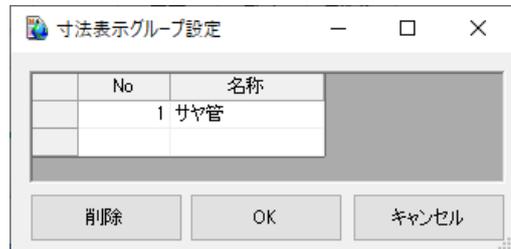
〈鋼材部品登録後〉



特殊部品組み合わせ設定 - 作成画面が表示されるので、特殊部品名・サイズを入力、寸法線グループを設定します。



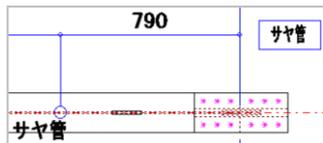
『部材追加時に配置基準をずらす』 チェックを外す	
特殊部品名	サヤ管 と入力
寸法表示グループの▽をクリックして〈新規作成〉をクリック	
No	1 と入力
名称	サヤ管 と入力



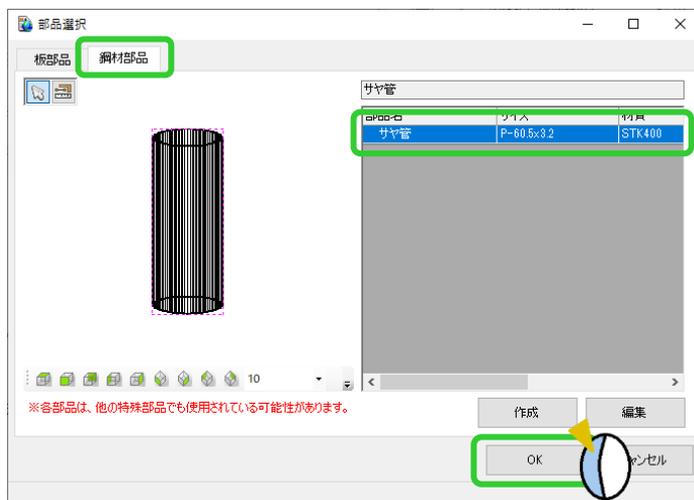
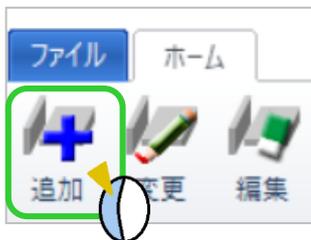
寸法表示グループ	1 - サヤ管 を選択
サイズ	60.5x3.2 と入力



【寸法線表示グループ】を設定すると、梁詳細図や加工図に寸法を表示します。



【追加】 をクリックし、部品選択画面で特殊部品のサヤ管として使用する部品を選択し【OK】をクリックします



部品選択画面では、作成から部品作成画面へ移動し、新たに特殊部品として使用する部品を作成することもできます。

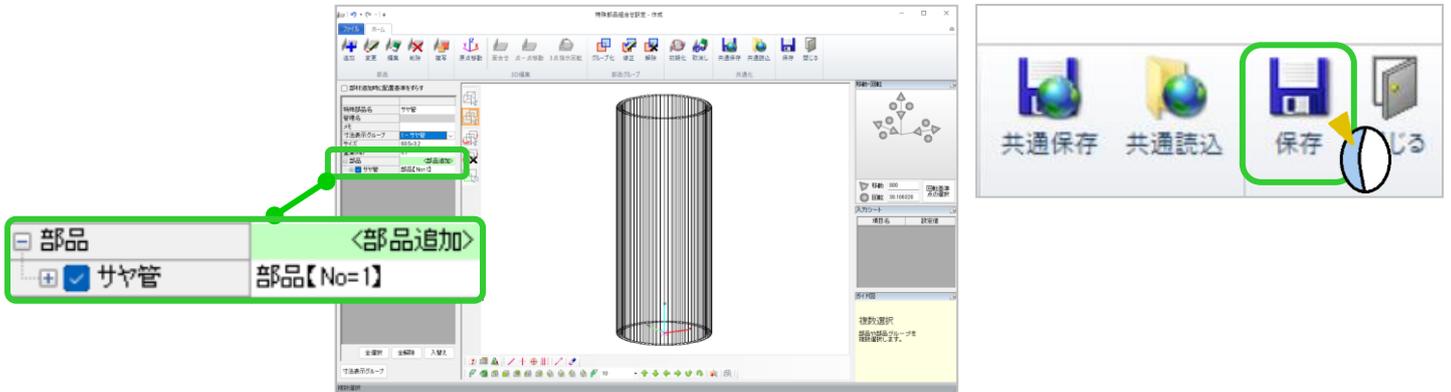




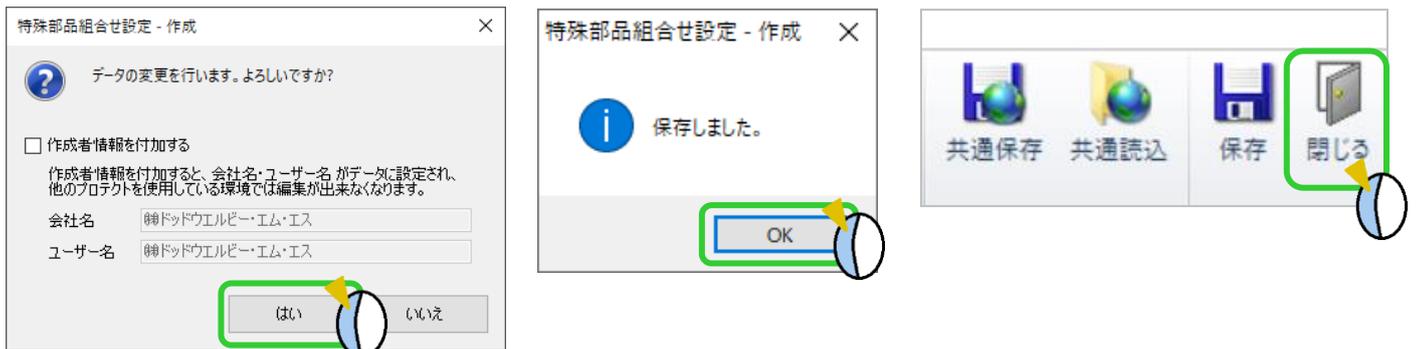
サヤ管を特殊部品で登録したい！(鋼材部品編)③

二次部材マスターの特殊部品マスターにて登録します。【サヤ管編】

特殊部品作成画面に戻り、先程選択した鋼材部品が表示されたことを確認し、【保存】をクリックします。



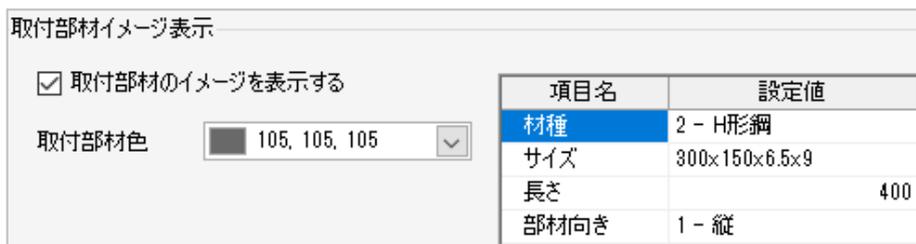
確認メッセージの【はい】をクリック、保存確認画面でも【OK】をクリックし、【閉じる】をクリックして終了します。



作成した特殊部品は【共通保存】することができます。
他工事で使用する場合に【共通読込】で、共通保存していた特殊部品を読み込んで登録することができます。



取付部材のイメージを表示する場合は、【ファイル】 - 【オプション】をクリックし、【取付部材のイメージを表示する】にチェックを入れ、表示させたい部材情報を設定してください。



取り付け部材のイメージを表示すると、取り付け部材の絵を表示することができ、梁に取り付ける際の原点などがわかりやすくなります。

